

【No. 1】 建築基準法第 35 条の 2 の規定による内装の制限に関する次の記述のうち、建築基準法上、**誤っている**ものはどれか。(ただし、認定による安全性の確認等を行わないものとする。)

1. 内装の制限を受ける調理室等火気使用室の壁及び天井の室内に面する部分の仕上げには、準不燃材料を使用することができない
2. 自動車修理工場の用途に供する特殊建築物は、その構造及び規模にかかわらず、内装の制限を受ける
3. 地階に設ける居室でバーの用途に供するものを有する特殊建築物は、その構造及び規模にかかわらず、内装の制限を受ける
4. 耐火建築物及び準耐火建築物以外の建築物である延べ面積 300 m²の物品販売業を営む店舗で、店舗の用途に供する部分の床面積の合計が 180 m²のものは、内装の制限を受けない

答. 1

【No. 2】 防災・安全計画に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 防火地域内にある高さ 2 m の看板で、建築物の屋上に設けるものは、その主要な部分を不燃材料で造り、又はおおわなければならない
2. 建築基準法では、建築物を常に適法状態に維持管理することを義務付けており、人命の尊重のために防災を十分に考慮すべきである
3. 防災計画の内容は、火災の発生防止・延焼拡大防止・避難などの火災対策と地震対策である
4. 準防火地域内の 3 階建の物品販売業を営む店舗は、耐火建築物としなくても良い

答. 4

【No. 3】 建築構造に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 制震構造とは上部の建物と基礎との間に積層ゴムなど、水平に剛性の小さい部材を設け、地震動を伝達しないように考慮した工法である
2. 在来軸組工法は、土台、柱、桁、梁などの木質部分による加工方式である
3. 木造で高さが 13m 以下、軒高 9m 以下でも 3 階建ては構造計算を必要とする

4. 鉄骨ラーメン構造とは柱にH形鋼や鋼管、梁にH形鋼やトラス梁を用い柱、梁を剛にして接合して構成する骨組みである

答. 1

【No. 4】 建築設備に関する次の用語の組合せのうち、最も関係の少ないものはどれか。

1. 電気設備 …………… キュービクル
2. 空気調和設備 ……… バスダクト
3. 消火設備 …………… ドレンチャー
4. 排水設備 …………… トラップ

答. 2

【No. 5】 搬送設備・通信設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 非常用エレベーターは高さ 31m以上の建物に必要である
2. ダムウエーターとはかごの床面積は 3 m²以下、天井高さ 4m以下のものを言う
3. 電話設備の P B X とは大規模施設向けの交換機方式のことである
4. エレベーターの昇降行程とは最下階の床から機械室の床からオーバーヘッドを引いた距離を言う

答. 2

【No. 6】 照明計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 照明方法には全体照明、重点照明、演出照明などがある
2. 照度の少ない照明計画は比較的ゆったりとした環境になる
3. 光の量を表す単位は R a (アールエイ) である

4. 光束法による平均照度を求めるには次の式を用いる

$$\text{平均照度} = \frac{\text{ランプ光束} \times \text{ランプ本数} \times \text{照明率}}{\text{室面積} \times \text{減光補償率}}$$

答. 3

【No. 7】音に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 同じ厚さの一重壁であれば、一般に、壁の単位面積当たりの質量が大きいものほど、遮音性が高い
2. 音が球面状に一樣に広がる点音源の場合、音源からの距離が2倍になると音圧レベルは、約6 dB 低下する
3. 残響時間は、音源から発生した音が停止してから、室内の平均音圧レベルが60dB 低下するまでの時間をいう
4. 室内騒音の許容値は、一般に、「音楽ホール」より「住宅の寝室」のほうが小さい

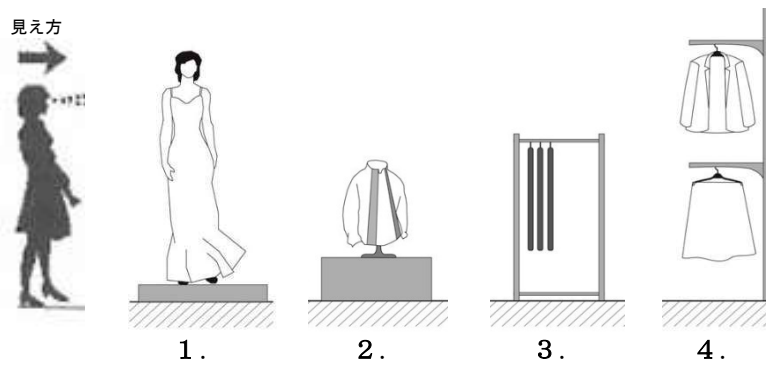
答. 4

【No. 8】サイン計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. サインデザインにおいては、文章表現では伝えづらい内容を端的に示す手段として、図絵・写真を用いることがある
2. 色彩は、素材が持つ光の反射率によって定まる
3. 図形を判読する場合、そのものの色と周りの色相や彩度を違えて認識させようとしても、明度が似ている場合は形が不明確になることが多い
4. 外部照明方式のサインは、保守点検が難しく、維持費も高くなってしまふ

答. 4

【No. 9】VMDシステムに関する次の記述と図の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。



1. ビジュアル・プレゼンテーション (VP)
2. ポイント・オブ・セールスプレゼンテーション (PP)
3. アイキャッチ・プレゼンテーション (EP)
4. アイテム・プレゼンテーション (IP)

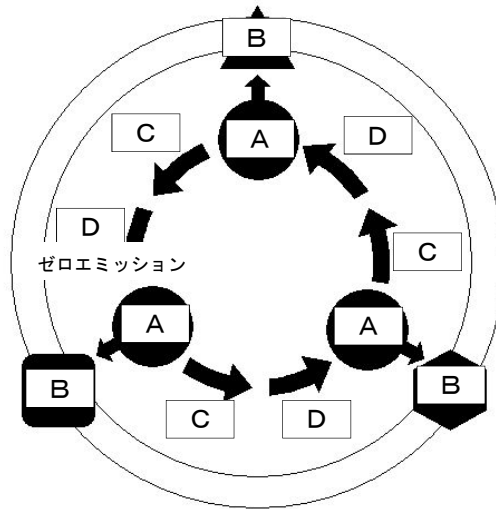
答. 3

【No.10】 バリアフリー計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 車いすのすれ違いのできる廊下幅は 180 cm 以上必要である
2. 廊下にスロープを設ける場合は 1 / 12 以下の勾配とし手すりを設ける
3. 身障者用便所の内法は 2 × 2 m 以上とし、便座の周囲に手すりを設ける
4. 屋外のスロープの勾配は 1 / 6 以下とする

答. 4

【No.11】 次の記述のうち、環境計画のリサイクル図の A B C D に入る語句の組み合わせとして、最も適当なものはどれか。



- | | A | B | C | D |
|----|--------|------|----------|------|
| 1. | 生産 | — 製品 | — 排出物・排熱 | — 資源 |
| 2. | 資源 | — 生産 | — 排出物・排熱 | — 製品 |
| 3. | 製品 | — 資源 | — 排出物・排熱 | — 生産 |
| 4. | 排出物・排熱 | — 製品 | — 資源 | — 生産 |

答. 1

【No.12】 省エネルギー計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 廃熱・廃水・廃棄物は地球温暖化やオゾン層減少の原因となる
2. 2009年のデータでは世界各国の中でCO₂排出量が最も多いのはアメリカである
3. 商業施設は昇降機を除くすべてが省エネ法に基づく性能指標を満足しなければならない
4. 建築物のライフサイクル、環境品質、環境負荷の総合性能評価システムをCASBEEという

答. 2

【No.13】 コスト計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 防火区画、排煙区画の合理的配置はローコストに大切な要素といえる
2. 駐車場は店舗の直上階のほうが独立型の駐車場より坪単価は一般的に安い
3. 引き込み負担金はコスト構成で配慮しておくべき項目である
4. 均等スパン、X方向とY方向の同スパンはローコストの基本と言える

答. 2

【No.14】 商業施設のコスト計画に影響する基本事項に関する次の記述のうち、直接関係の薄い事項はどれか。

1. 契約内容の確認
2. スケジュール管理の確認
3. 販促方針の確認
4. 構造条件の明確化

答. 3

【No.15】 設計製図に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 平面図、配置図、では、原則として北を上にして作図する
2. 店舗デザインにおける平面図では、原則として下方または左側を出入り口とする
3. 製図に用いる「縮尺」は、1/30、1/100 など5種類に限られる
4. 製図に用いる「線」は、実線、破線、点線、鎖線、の4種類である

答. 3